

01 巻頭言

高須 武男「デジタル時代に何が変わるのか？」

02 特集

2020年の日本創生

一若者が輝き、世界が期待する国へー

提言概要

桜井代表幹事、提言に込めた思いを語る
シンポジウム など

11 リレートーク

浅澤 健「Dスクールをつくる」

12 経済同友会最前線

新卒就職採用活動の適正化に関する意見

企業経営委員会パネル・ディスカッション

全国経済同友会代表幹事円卓会議

第24回民間経済団体国際会議

会員懇談会「会計検査院の役割」

西村 正紀 会計検査院 会計検査院長

第1162回会員セミナー

浦野 光人 ニチレイ 取締役会長

「環境問題に対する今後の日本企業の取り組み」

第1164回会員セミナー

村山 斉 数物連携宇宙研究機構 機構長

「宇宙の5つの謎と、その解明へ向けての日本の地位」

第102回TCERセミナー

大橋 弘 東京大学大学院 経済学研究科 准教授

「わが国の将来を支えるイノベーションと産業政策のあり方」

22 コペンハーゲン通信

「変わりゆくデンマーク、残ってほしい風景」

23 同友会スケッチ

2011年1月の記録と2011年3月の予定

24 新入会員紹介

2011年1月21日現在の入退会者

25 全国セミナーのお知らせ

26 私の思い出写真館

永山 治「ホセ・カレラス氏との出会い」



副代表幹事
社会保障改革委員会 委員長

高須 武男

バンダイナムコホールディングス
取締役会長

デジタル時代に何が変わるのか？

デジタル時代の幕開けの中で、今世の中で何が起きているのでしょうか？
それはまさに「業際の崩壊」ではないのでしょうか……。

「インターネットTV」の誕生で、パソコンとテレビの壁がなくなりました。「携帯電話」がカメラの機能を持って久しいのは皆さんよくご存知のことです。今では「携帯電話」は単なる電話機能ではなく「メール」や「ゲーム機」として、さらには不特定多数の人とコミュニケーションできる「ツイッター」や「ソーシャル・ゲーム」に利用されています。そして、アップルの「iPhone」「iPod」「iPad」などは、携帯電話・携帯音楽プレーヤー・書籍・AVソフト・ゲーム・PCの機能をすべて持ち合わせる多機能端末となっています。そして、「電子書籍」の誕生で出版業界も大慌てです。

ゲームソフト業界でも、「任天堂DS」が、ゲームの枠を超えて「料理・冠婚葬祭」など、生活に役立つソフトをそろえることで、購入層を画期的に広げることに成功しました。「任天堂Wii」も「スポーツ」や「フィットネス」などのソフトをそろえ、TVゲームを個人から家族で遊べるものにして、ファン層の拡大に成功しました。それは、「自宅がゲームセンター」になるということで、ゲームセンターの来店客数が減少するという現象を生み出しました。

また、最近話題の「電気自動車」の誕生によって、将来、家電メーカーの自動車業界参入が可能になるはずで、「パナソニック」製の自動車が街を走るのも遠くないかもしれません。

こうしてみると、近未来では「〇〇業界」といった考え方は、まったく意味を持たなくなりそうです。まさに業界の壁を越えての「主導権」争いの時代を迎えている、ということではないでしょうか。

わが国の経済が将来どれだけ成長できるかは、まさにこうした業界の壁を越えた主導権争いの中で、日本企業がどれだけ「デファクト・スタンダード」を獲得できるかの勝負にかかっているのではないのでしょうか？日本は「個々の技術」は群を抜いて優れているにもかかわらず、「ビジネスモデル」をつくり上げるのが下手だといわれています。

「出でよ！ 構想を描ける真のビジネスマン！」と叫びたい気持ちです。これからは、まさに国際舞台での「民間活力」のガチンコ勝負なのです。